

12/23 木曜

# 診療報酬0.94%引き下げ 75歳以上2割負担10月から

## 予算閑僚折衝 自然増2200億円圧縮

化など)で当然増える社会保障の伸び(自然増)の22年度見込み額6600億円を4400億円に圧縮するひとも決定。差額の2200億円が削減されます。9年間の安倍・菅政権で自然増分を約2兆円削り込んできた路線を継承・強化するものです。

2022年度予算編成を度改定されます。今回は、薬の公定価格「薬価」部分などを市場価格との差を踏みマイナス1・37%とす機関に支払われる診療報酬の一方、医療従事者的人件の22年度改定で金体を0・94%引き下げるなど、社会保険費抑制あらきのメニューを決めました。診療報酬全体の引き下げは実質5回連続で、コロナ禍があらわにした脆弱な医療体制のなります。

ス分を除いて毎回繰り返されてきました。むしろした社会保障費抑制路線がコロナ禍のもと医療逼迫を現実にあり)の約370万人が対して批判が相次いでいます。

年を重ねれば病気になります。

にもかかわらず、閑僚折衝では75歳以上の高齢者の医療費窓口負担(現行原則1割)に2割負担を導入する時期を、22年10月からとすることも決めました。12年末の安倍政権発足以降、金体の引き下げは14年連続で、診療報酬のマイナス改定再生・強化に骨を向けています。▼関連⑤面 診療報酬金体は2年に一度の消費税増税対応のうえで、3割負担とされている人を除き、単身世帯である財源を使って、高齢